



花鳥之図



古梅・白鳥之図



投網之図



山水之図



猛虎竹林図



布袋図



達磨之図



観音図

【樽松玉峰年表】

年	西暦	できごと	年齢
明治22年	1889	9月11日上浅羽村浅名に生まれる。本名は樽松良平。幼少から絵の才能に恵まれていた。	
明治42年	1909	小笠郡大淵村沖之須(掛川市)の森下青谷のところへ入門する。森下青谷は川村雨谷の門下で、相草村川村家に養子に入り名は佐七と言う。玉峰は、22歳からの3年間は、春夏秋冬の21日間つつ小笠山神社へ深夜の参拝を続ける。	20歳
明治45年	1912	画家になろうと決心して文展、日展の審査委員などを務めた日本画の大家・小室翠雲(東京)の門人となる。	23歳
大正8年	1919	このころの作品に「玉峰衛人」の落款あり。掛川町(市)、大阪府、清水市(静岡市)などに移り住む。各地で禅修行を重ねつつ画業に精進する。	30歳
大正13年	1924	このころの作品にも「玉峰衛人」の落款がある。	35歳
昭和8年	1933	統後の国民として、彩管報国の志を立て、戦死者の遺族に観世音尊像の揮毫をして贈りはじめる。	44歳
昭和9年	1934	五十岡の龍巢院に「為樽松家先祖代々菩提」として竜の大額二枚を寄進する。	45歳
昭和19年	1944	清水の住居は12月9日の東南海地震により大きな被害を受ける。さらに、静岡大空襲で完全に焼失する。	55歳
昭和21年	1946	郷里の浅名に帰り住む。家族の住む静岡へ行ったり、浅名へ帰ったりの生活を続ける。	57歳
昭和28年	1953	「知行画会」を催し作品を頒布する。	64歳
昭和54年	1979	1月、静岡市谷田へ家族とともに住む。	90歳
昭和57年	1982	1月15日死去。享年92歳。	92歳



樽松玉峰

【参考文献】

磐田郡浅羽町	2000	『浅羽町史 通史篇』
袋井市古美術を観る会	2010	『袋井の画人二人展』
中道朝爾	1986	『遠州画人伝』
浅羽町文化協会	1982	『郷土画家 樽松玉峰展』

【出品者・調査協力者】

樽松のぶ子	久野 克美	大石 和弘	岡本 幸男
金原 萬七	稲垣 孝則	館石 貞夫	堀内 祐司
山本 光子	樽松 政雄	松井 信義	名倉 哲雄
村松 泰雄	金原 勤	樽松 忠	沢田 淳一
久保田よし子	大塚勢津子	JA遠州中央農協浅羽支店	
龍巢院			(順不同・敬称略)

【お断り】 一部の作品名が不明のものは仮名称で紹介しています。



竹林之七賢人図

# 郷土の画人 樽松玉峰展

期間 平成25年11月1日(金)~15日(金)  
 ※11月4日、11月11日は休館日  
 時間 午前9時30分~午後5時30分  
 ※最終日は午後3時00分まで  
 料金 無料  
 会場 浅羽図書館 (袋井市浅名976-1)  
 内容 明治・大正・昭和の浅羽を代表する画人・樽松玉峰の作品を紹介します。



袋井市教育委員会生涯学習課文化財係

☎0538-23-9264



雲龍圖 (本堂右) 龍巢院



雲龍圖 (本堂左) 龍巢院



藤花雉子圖



蓬萊山之圖



竹林之七賢人圖



七福神之圖



老梅之圖



四季之圖



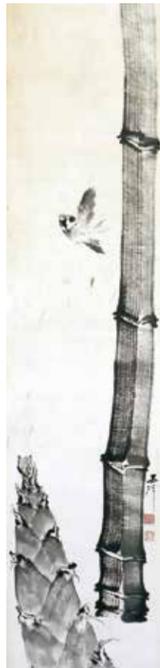
雲龍之圖



十二頭三尾三劍之圖



山水之圖



竹林遊雀之圖



不老長春之圖



十湖贊之圖



大黒天之圖



四季之花圖